

県都『あきた』成長プランの概要

1 次期秋田市総合計画について

(1) 計画の名称

秋田市を成長させていくという思いを込め、次期秋田市総合計画の名称は、「県都『あきた』成長プラン」としました。

(2) 計画の目的

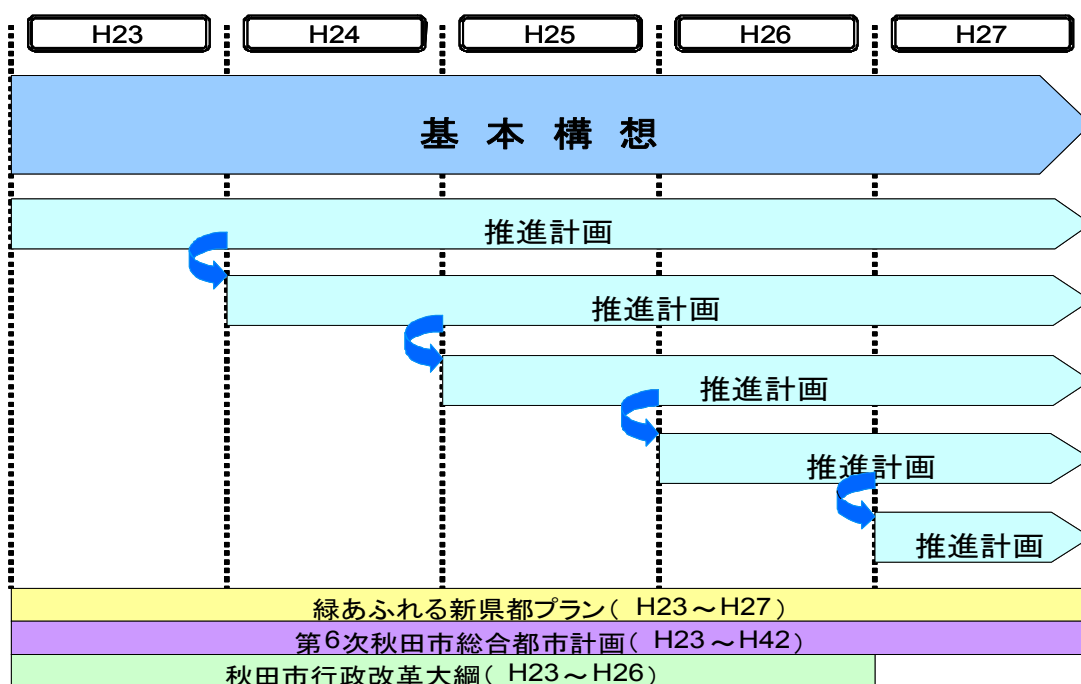
社会経済情勢が短期間でめまぐるしく変化する先行きが不透明な時代であり、急速な少子高齢化の進行や人口減少、厳しい財政状況、自殺対策をはじめとする新たな行政課題の増加など、本市を取り巻く環境も大きく変化しています。

このような現状を踏まえ、本プランは、これから本市が目指すべき将来を示し、市民とともに元気な秋田市づくりを進めていくことを目的としています。

(3) 計画の期間と構成

平成23年度から27年度までの5年間とします。

5年間の計画期間を通した目標を実現するための基本的な考え方を示す「基本構想」と、基本構想に定められた将来都市像を見据え、目標を実現するための具体的な手段を定める「推進計画」により構成します。



(4) 計画の特徴

①時代の変化への対応

これまでの総合計画は、計画期間をおおむね10年間としてきましたが、社会経済情勢がめまぐるしく変化していることから、本プランは、計画期間を5年間とし、時代の変化に対応しやすい計画としました。

このうち、「推進計画」については、毎年度事業をローリングすることにより見直していくとともに、具体的な取組を示すことで、今後本市がどのような施策展開を行っていくのかを明らかにした計画としています。

②成長戦略の設定

本プランには、「秋田市を元気にすること」「元気な秋田市を次の世代に引き継ぐこと」の実現を目指し、今後成長させることが必要な分野において、一体的かつ集中的に経営資源を投入する成長戦略を新たに設定しました。

2 基本構想について

(1) 第1 基本構想の意義

基本構想を、本市の総合的かつ計画的な行政経営をはかるための、「5年間の計画期間を通した目標とそれを実現するための基本的な考え方を示すもの」と位置づけるとともに、基本構想の構成について記載しています。

(2) 第2 総合計画推進のために

基本理念の実現に向け、行政サービスの向上と行政経営の確立により、総合計画を推進するための体制の整備について記載するとともに、今後の本市の経営資源を最大限にいかしながら、市民と一緒にまちづくりを進めていくため、常に意識していくべき視点として、「行財政改革」「地方分権・地域主権改革への対応」「市民協働」「家族・地域の絆づくり」の4つを設定しています。

(3) 第3 基本理念

- 年齢や性別を問わず、自分らしくいきいきと輝いている「人」
- にぎわいにあふれ、多彩な魅力に満ちている「まち」
- 四季の移り変わりのように彩り豊かで、心うるおう「くらし」

『ともにづくり ともに生きる 人・まち・くらし』を本市の基本理念と定め、市と市民が協力しあいながら、そのような人・まち・くらしの実現を目指していきます。

(4) 第4 将来都市像

基本理念のもとに目指す大局的な方向性として、5つの将来都市像を設定しています。

将来都市像ごとの取組を表す体系図を記載するとともに、各分野における【現状分析】と、おおむね10年後を見据えた【目指すべき将来】、それに向けた計画期間内における【対応】と、項目をわけて記載することで、わかりやすい計画となるよう意識しています。

①豊かで活力に満ちたまち

【施策分野】

工業、企業誘致、商業・サービス業、中小企業経営、雇用、貿易、農林水産業、観光、まちなのにぎわい

【目指すまちな姿】

産業振興により地域経済を活性化し、雇用とにぎわいを創出することにより都市としての求心力を高め、多様な交流や連携を構築し、県都として周辺圏域の発展を牽引する「豊かで活力に満ちたまち」を目指します。

②緑あふれる環境を備えた快適なまち

【施策分野】

環境保全、循環型社会形成、地球温暖化対策、市街地形成、景観形成と都市緑化、住宅、水道、生活排水処理、道路整備、交通機能、情報通信環境

【目指すまちな姿】

利便性の高い都市基盤を整備しながら、本市の住みよい環境を保全し次世代へ継承することで、いつの時代においても、「緑あふれる環境を備えた快適なまち」を目指します。

③健康で安全安心に暮らせるまち

【施策分野】

災害時の危機管理、災害に強いまちづくり、雪に強いまち、防犯対策、交通安全対策、消費・生活衛生環境、保健・医療、火災への対応、救急体制、社会保障制度

【目指すまちな姿】

生活の危険を回避できる十分な体制を整備し、市民が健やかな心身を保ちながら、「健康で安全安心に暮らせるまち」を目指します。

④家族と地域が支えあう元気なまち

【施策分野】

家族と地域、男女共生、地域福祉、児童福祉・子育て支援、障がい者福祉、高齢者福祉、地域の自治活動、市民活動

【目指すまちの姿】

家族・地域・人の絆のもと、すべての市民が主人公として充実した生涯をおくることができる「家族と地域が支えあう元気なまち」を目指します。

⑤人と文化をはぐくむ誇れるまち

【施策分野】

郷土の歴史と文化、文化・芸術活動、生涯スポーツ、国際交流、社会教育、学校教育、高等教育

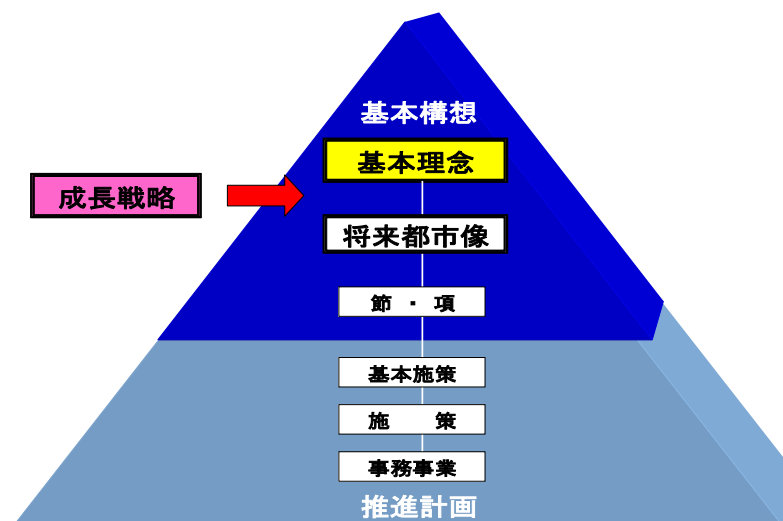
【目指すまちの姿】

歴史や文化をいかした魅力あるまちづくりを進めるとともに、生涯にわたり学習・文化・スポーツ活動に取り組める環境の中で、誰もが目標に向かって成長し、希望に満ちた生活をおくることができる、「人と文化をはぐくむ誇れるまち」を目指します。

(5) 第5 成長戦略

本市の成長を牽引するために、将来都市像別の体系にとらわれずに、今後成長させることが必要な分野において、一体的かつ集中的に経営資源を投入する6つの成長戦略を設定しています。

各戦略ごとの方向性を明確にするとともに、その実現を図るための手段として重点プログラムを設定し、それぞれの戦略に基づく具体的な成長戦略事業については、「推進計画」に位置づけます。



①戦略1 都市イメージ「ブランドあきた」の確立

【戦略の方向性】

- 秋田市オリジナルのイメージの確立
- 市民が誇れる魅力あるまちづくり

【重点プログラム】

- I まちの顔づくり
- II 芸術・文化によるまちおこし
- III 秋田市ブランド商品の開発と振興
- IV クラブスポーツへの支援

②戦略2 地域産業の競争力強化

【戦略の方向性】

- 新たな経済活動の創出
- 地元企業の育成と物流の活発化

【重点プログラム】

- I ビジネスチャンスをとらえた産業の創出
- II 環日本海貿易の促進
- III 戦略作目による新たな農業ビジネスの展開

③戦略3 観光あきた維新

【戦略の方向性】

- 観光都市としての魅力創出
- 交流人口増加による経済活動の活性化

【重点プログラム】

- I 秋田市ならではの観光戦略構築
- II 観光資源の発掘、磨き上げ
- III セールスプロモーションの強化

④戦略4 環境立市あきたの実現

【戦略の方向性】

- 積極的な地球温暖化対策
- 環境関連の新たな技術などを活用した産業振興

【重点プログラム】

- I 新(省)エネルギー設備の導入拡大
- II 環境関連事業の創出
- III 環境付加価値の活用推進

⑤戦略5 エイジフレンドリーシティ(高齢者にやさしい都市)の実現

【戦略の方向性】

- 高齢者の社会参加の機会拡充
- 高齢者の生活の利便性向上

【重点プログラム】

- I エイジフレンドリーシティ構想の普及啓発
- II 高齢者の多様な能力の活用
- III バリアフリー化の促進
- IV 高齢者の交通手段の確保

⑥戦略6 次世代の育成支援

【戦略の方向性】

- 子どもを生き育てやすい環境づくり
- 若年者の安定雇用

【重点プログラム】

- I 支えあいによる子育て支援
- II 若者の自立支援